

昭和58年度ハッチョウトンボ個体数調査

高橋 匡

昭和58年6月19日（日）午前7時40分頃、豊岡駅前に集合した人員は約20名である。内訳は豊高生物部員9名（男子6名、女子3名）、同OB4名、その他である。天気は快晴。絶好の調査日和である。

2班に分れて豊岡市内の休耕田に生息するハッチョウトンボの個体数を調査する。A班は三宅、森尾、鍛冶屋橋、立石方面、B班は戸牧、岩井、福田、江野、伊賀谷方面に向かう。

調査方法は、各地点で全個体を捕獲し、三角紙または捕虫網の中に保管し、性別・個体数などを記録した後、放す。調査結果は表に示すとおりである。

	調査地域	休耕田数	♀	♂	計
A 班	森	15	291	321	612
	尾	5	53	130	183
	鍛冶屋橋	6	3	42	45
	立石	3	31	56	87
B 班	戸	5	69	90	159
	岩	3	8	20	28
	福	3	7	9	16
	江	3	16	42	58
	伊賀谷	5	24	32	56
	計	48	502	742	1244

今回の調査では全体的に♂より♀の個体数が少なく、♂では腹部が赤化しない未成熟の個体がめだった。森尾ではヤゴが2～3頭得られたようである。反省点として、捕獲した個体を三角紙や捕虫網の中に閉じこめておくと意外に早く参ってしまって（好天で気温が高かったせいかな？）放しても飛べないものが多かった。今度はマーキング法を採用するのがよいと考えている。このような調査は一時的なものではあまり意味がなく継続的に実施して消長の傾向をつかむ必要があると思っている。